

せ かい かくめいじょうせい  
世界は革命情勢だ

かくきょうどうせい じ しゅうかい けっしゅう  
7・31 革共同政治集会に結集を

ろうどうくみあい こくさいてきだんけつ ちょうせんせんそう そ し せ かい か  
労働組合の国際的団結で朝鮮戦争を阻止し世界を変えよう

きょうだい がくせい む きていがくしよぶん き じ めん  
京大4学生に無期停学処分 記事2面

あた ら ろうどうしゃ せいとう せんそう かいけんぜったいはんたい ひ せい きしよくてつぱい  
新しい労働者の政党をつくろう！ 戦争・改憲絶対反対、非正規職撤廃！

しよくば ちいき あら ろうどうしゃ だんけつ だ ろうどうしゃ ちから しゃかい か  
職場・地域で新たな労働者の団結をつくり出し、労働者の力で社会を変えよ

う！ 18日間全力で闘われた参院選決戦は、資本主義の終わりを新たな労働者

みんしゅう じだい てんか しゅつぱつてん きず ろうどうくみあい こくさいてきだんけつ ちょうせんしんりやくせん  
民衆の時代に転化する出発点を築いた。労働組合の国際的団結で朝鮮侵略戦

争を阻止しよう！ 7・20 韓国第1次ゼネストは蔚山(ウルサン)6万人、全国10

まんにん きぼ せ かい かくめいじょうせい すずき こうほ とうひょう まん  
万人の規模でかちとられた。世界は革命情勢だ。鈴木たつお候補に投票した1万

6187人の一人ひとりの力を一つにし、7・31 革共同政治集会の大成功を

かちとろう。8・6 広島—8・9 長崎闘争に決起しよう。

あら れきし しゅつぱつてん さんいんせんけっせん とうたつ ち へい  
新たな歴史の出発点=参院選決戦の到達地平

さんいんせんけっせん にほん ろうどうしゃかいきゅうじんみん あら れきし きざ とち じせん こうほ  
参院選決戦は日本の労働者階級人民の新たな歴史を刻んだ。都知事選3候補

が示すとおりブルジョア政党の腐敗・墮落は極まっている。ブルジョアジーには

もはや、この社会を維持することも歴史を前に進めることもできない。革共同

と階級的労働運動の前進でこの状況を打ち破り、歴史の流れを変え、労働者

の新しい社会をつくり出そう。プロレタリアートの国際的な団結と闘いでブル

ジョアジーを打倒する革命の時代が始まった。

かんこく がつ はつ か だい じ みんしゅろうそう せんとう ぜんこく まんにん きぼ  
韓国では7月20日に第1次ゼネストが民主労総を先頭に全国10万人規模でか

ちとられ、9月には鉄道労組を先頭に無期限ゼネストに入ることが宣言された。イギリスでは国民投票によるEU(欧州連合)離脱決定という形で新自由主義と緊縮政策への労働者階級人民の怒りが示された。フランスでは5カ月にわたって労働法制改悪反対のゼネスト・全国デモが闘われている。アメリカでは警察官による黒人射殺が相次ぎ、抗議行動が全国で闘われている。オバマ政権の反動性、無力性は明らかだ。トルコでも新自由主義政策を強権的に進めるエルドアン政権への労働者階級人民の怒りを背景に軍隊反乱が起こった。ブラジルではリオデジャネイロ・オリンピック反対が過半数に上り、腐敗する暫定政権は窮地に陥っている。大恐慌の深化は全世界に革命情勢をもたらしている。

この世界史的大激動の中で参院選決戦が闘われた。その中で新たな団結と拠点形成するために闘った。これはプロレタリア世界革命をめざして新たな労働者の政党をつくり出すために不可欠の闘いだった。

鈴木たつお候補を支持し投票した1万6187人の多くは、昨秋安保戦争法国会過程でめぐり会い、再会し、新たに結合を開始した仲間であり同志である。その多くが国鉄分割・民営化に反対し1047名の解雇撤回を求めて30年を超えて闘う国鉄闘争の前進と苦闘に心を寄せ、ともに闘ってきた人たちだ。その多くが60年安保闘争、70年安保・沖縄闘争、そして80年代、90年代を職場・地域で懸命に闘ってきた。1万6187票はそのひとまずの結晶である。

ブルジョアジーと安倍政権はもとより、日本共産党、民進党を始め既成の全政党・党派、全マスコミがこぞって鈴木たつおさんの立候補すら無視抹殺しようとした。この大反動、大反革命に真正面からノーを突きつけたのが1万6187人だ。

「新しい労働者政党」をつくり出す無数の討論

国鉄闘争は、昨年 6・30 最高裁決定という決定的な勝利と前進をかちとった。国鉄千葉動力車労働組合（動労千葉）の 1047 名解雇撤回の訴訟において最高裁第 3 小法廷の大谷剛彦裁判長は、全国から寄せられた 10 万筆を超える署名の力も背景、土台にして、「分割・民営化に反対する労働組合に所属する者を差別して不利益に扱う目的、動機（不当労働行為意思）に基づいて J R 不採用基準がつくられた」と採用差別が不当労働行為であったことを明確に認定した。これは「国鉄改革」の正当性を根底から揺るがす決定的な事態だった。なぜなら国鉄分割・民営化は、国鉄改革法により、新会社への国鉄労働者の異動を「新規採用」とすることによって、当時の首相・中曽根康弘が狙った戦後最大の労働運動解体が進められたからだ。以来このやり方がすべての労働現場に吹き荒れ、多くの良心的労働組合の反対・抵抗をも押し切る形で強行された。そして膨大な数の非正規職（若者も中高齢者も）が生まれた。この現実を真正面から覆し、奪われたすべてを労働者の団結で奪い返す闘いが参院選・鈴木たつお候補の登場とともに始まったのだ。

今回の参院選決戦で重要なことは、街頭や駅頭で連日繰り広げられた鈴木たつお候補の街宣隊と労働者・住民との討論、激論である。鈴木候補の主張とその内容に対する賛成、反対の議論、自分の未来の展望をめぐる真剣な討論を労働者同士で始めた。

鈴木たつおさんは語っている。「（私の演説を）一番熱心に聞いてくれたのがやはり労働者でした。足を止めて 30 分でも 1 時間でも聞いてくれた。その労働者に真っ向から『革命の必要性和現実性』を語り、『みなさんの団結にこそ力が

ある』と訴えた。ある労働者が私のところにやってきて、『これは新しい思想ですね。ぜひこの思想を全国に広めてもらいたい』と言いました。この『新しい思想』とは、まさに反帝・反スターリン主義プロレタリア世界革命のことであり、その中身を感じとってくれた。『新しい党』ということを経済者がストレートに受け止めてくれた」

今回の選挙戦は、この新しい思想を育て広げて新たな労働者の政党をつくり出す基礎を築いた。

第一は、鈴木たつお候補と一体となった連日の街頭宣伝である。第二は、数万部の『前進』を毎週 2 回〈編集し、印刷し、発行し〉東京—全国に届け配布した闘いである。第三は、安保国会闘争、国鉄闘争で結びついた数万人の労働者・住民に街頭や職場・地域で接触し、鈴木たつお候補の主張を満載したリーフ・チラシとともに『前進』を届け配布した闘いである。第四は、労働組合を回り、鈴木たつお弁護士が立候補の決断にいたった今の情勢と国鉄闘争の現状と展望を語り伝えた闘いである。第五は、障害者解放闘争、女性解放闘争、部落解放闘争など、国鉄闘争が切り開いた全戦線、現場で多くの仲間と新たに結合したことである。

こうして「新しい思想」を広め「新しい労働者の政党」の土台と展望を切り開いてきた。

### 改憲と労働法制大改悪めぐり戦後最大の決戦

参院選決戦を闘った今、日本の階級闘争は戦後最大の決戦、日帝・安倍の改憲・労働法制大改悪との一大攻防に突入した。参院選後、一挙に改憲が大焦点化

している。

とうかいひょう よくじつ あべ かいけん さいじゅうようせい じ かいだい う だ けんぼうしん さかい  
 投票の翌日、安倍が改憲を最重要政治課題として打ち出し、憲法審査会  
 かいけんろんぎ もと がつ じゅうよつ か てんのうあきひと せいぜんたい い はつげん いっせいに  
 の改憲論議を求めた。7月13～14日、天皇明仁の「生前退位」発言が一斉に  
 トップニュースとなり、意図的に大キャンペーンされている。憲法第2条（皇位  
 けいしやう けんぼうだい じょう せつしやう か かいけん だいはんどう さくどう あべ  
 の継承）、憲法第5条（摂政）を変える改憲の大反動が策動されている。安倍  
 じ みんとうそうさいにん き ねん がつ えんちょう かいけん じょうかいけん  
 は自民党総裁任期（18年9月まで）を延長してでも改憲—9条改憲をやろうと  
 している。

そして、もう一つの改憲攻撃として「働き方改革」、すなわち「残業代ゼロ」  
 「8時間労働制解体」「解雇問題の金銭解決制度」導入が日経新聞、朝日新聞  
 じ かんろうどうせい かいたい かい こもんだい きんせんかいけつせい どう どうにゆう にっけいしんぶん あさひ しんぶん  
 を始めニュースのトップとなった。安倍と資本家階級が戦後最大の労働法制改  
 はじ あべ しほん か かいきゆう せん ご さいだい ろうどうほうせい かい  
 悪攻撃をしかけてきたのだ。経団連は7月19日、「同一労働同一賃金の実現に向  
 あくこうげき けいだんれん がつ にち どういつろうどういつちんぎん じつげん む  
 けて」を提言し、労働契約法を使った正社員ゼロ化＝総非正規職化を強行しよ  
 うとしている。

にほんかいきゆうとうそう ろうどううんどう さんいんせんけつせん ねん せん ご にほんかいきゆうとうそう  
 日本階級闘争、労働運動は、参院選決戦から2018年へ、戦後日本階級闘争  
 ようそう いっぺん こくてつぶんかつ みんえいか いらい だいけつせん だいげきどう とつにゆう さん  
 の様相を一変させる、国鉄分割・民営化以来の大決戦、大激動に突入した。参  
 いんせんけつせん とうたつち へい た かくめい ぜんりよく つ すず  
 院選決戦の到達地平に立ち、プロレタリア革命へ全力で突き進もう。そのため  
 に「新しい思想」を広め「新しい労働者の政党」をつくり出すのだ。

みんしんとう ひれいだいひょうとうせんしゃ にんちゆう にん れんごうこうほ そうれん そしき  
 民進党の比例代表当選者11人中8人が連合候補だ。JR総連カクマルが組織  
 そんぼう お げんしよく たしろかおる らくせん こうほ らくせん しほん  
 の存亡をかけて推した現職の田城郁は落選し、JAMの候補も落選した。資本  
 たたか こくてつとうそう うらぎ ぶんかつ みんえいか たいりょうくびき しほん  
 と闘わないどころか、国鉄闘争を裏切り、分割・民営化の大量首切りとJR資本  
 がいちゆうか ひせいきしよくか せんべい たたか ちばてつどう ろうどうしゃ  
 の外注化・非正規職化の先兵となり、闘うCTS（千葉鉄道サービス）労働者  
 おそ そうれん たしろ たい げんばろうどうしゃ とうぜん いか にほん  
 に襲いかかるJR総連カクマル・田城に対する現場労働者の当然の怒りだ。日本  
 きやうさんとう しゅぎ いみ ろうどうしゃ せいとう げんば くとう  
 共産党スターリン主義はいかなる意味でも労働者の政党ではない。現場で苦闘

し、<sup>たたか</sup>闘いを求める<sup>もと</sup>労働者<sup>ろうどうしゃ</sup>からはとっくに見捨てられている。共<sup>き</sup>産<sup>さん</sup>党<sup>とう</sup>に対する<sup>たい</sup>弾劾<sup>だんがい</sup>  
と離反<sup>りはん</sup>が<sup>おお</sup>多くの<sup>とういん</sup>党員・<sup>し</sup>支持者<sup>じしや</sup>に<sup>ひろ</sup>広がっている。

すべての<sup>みな</sup>皆さん。7・31 革<sup>かく</sup>共<sup>き</sup>同<sup>どう</sup>政治<sup>せい</sup>集<sup>じ</sup>会<sup>かい</sup>に<sup>あつ</sup>集まり、8・6 広島—8・9 長崎<sup>ひろしま</sup>  
<sup>とうそう</sup>闘争<sup>た</sup>に<sup>た</sup>立ち、11 月<sup>がつ</sup>労働者<sup>ろうどうしゃ</sup>集<sup>じゅう</sup>会<sup>かい</sup>一<sup>いつ</sup>日<sup>にっ</sup>韓<sup>かん</sup>100 万<sup>まん</sup>労働者<sup>ろうどうしゃ</sup>の<sup>れん</sup>連<sup>たい</sup>帯<sup>たい</sup>・<sup>けつ</sup>決<sup>き</sup>起<sup>き</sup>へ<sup>しん</sup>進<sup>げき</sup>撃<sup>き</sup>しよう。

全<sup>ぜん</sup>世界<sup>せかい</sup>で<sup>かい</sup>解放<sup>ほう</sup>を<sup>もと</sup>求め、ゼネスト、デモ、あらゆる<sup>そう</sup>創<sup>い</sup>意<sup>く</sup>工<sup>ふう</sup>夫<sup>み</sup>に<sup>た</sup>満<sup>たか</sup>ち<sup>た</sup>た<sup>か</sup>闘<sup>ひ</sup>い<sup>び</sup>を<sup>てん</sup>日<sup>かい</sup>々<sup>かい</sup>展<sup>かい</sup>開<sup>かい</sup>

する<sup>ろう</sup>労働者<sup>どう</sup>階<sup>かい</sup>級<sup>きゅう</sup>人<sup>じん</sup>民<sup>みん</sup>と<sup>むす</sup>結<sup>むす</sup>び<sup>むす</sup>つ<sup>むす</sup>こ<sup>むす</sup>う。絶<sup>ぜつ</sup>大<sup>だい</sup>な<sup>か</sup>夏<sup>か</sup>期<sup>き</sup>カ<sup>か</sup>ン<sup>か</sup>パ<sup>か</sup>を<sup>かく</sup>革<sup>かく</sup>共<sup>き</sup>同<sup>どう</sup>に<sup>よ</sup>お<sup>よ</sup>寄<sup>よ</sup>せ<sup>よ</sup>く<sup>よ</sup>だ<sup>よ</sup>さ

い。と<sup>ろ</sup>も<sup>ろ</sup>に<sup>そ</sup>労<sup>そ</sup>組<sup>きょ</sup>拠<sup>てん</sup>点<sup>けん</sup>建<sup>けん</sup>設<sup>せつ</sup>、<sup>ち</sup>地<sup>ち</sup>区<sup>く</sup>党<sup>とう</sup>建<sup>けん</sup>設<sup>せつ</sup>を<sup>すす</sup>進<sup>すす</sup>め、<sup>こく</sup>国<sup>こく</sup>際<sup>さい</sup>連<sup>れん</sup>帯<sup>たい</sup>で<sup>せ</sup>プロ<sup>せ</sup>レ<sup>かい</sup>タ<sup>かい</sup>リ<sup>かい</sup>ア<sup>かい</sup>世<sup>かい</sup>界<sup>かい</sup>革<sup>かい</sup>命<sup>めい</sup>

を<sup>き</sup>切<sup>き</sup>り<sup>ひら</sup>開<sup>ひら</sup>こう。